



中小路

中小路学区コミュニティ推進会

ホームページ インスタグラム

中小路小学校

駒王中学校



第129号

中小路学区コミュニティ推進会

中小路地区社会福祉協議会

発行責任者 中野 三樹男

編集責任者 広報部

交流センター 22-6483

今年も暑い夏がやってきた、それも特別な夏だ。今年も中小路学区コミュニティ推進会が発足して50周年、半世紀の記念事業としての実施となりました。

企画委員会もスタッフが倍に増え、50周年の節目として声援がったのは新イベントの実施、様々な賞品も今年世間を賑わした「お米をメインに用意することになった。

祭りの当日、オープニングを飾るのは、駒王中学校吹奏楽部。演奏の最後はみんなが知っている曲「マツケンサンバ」にあわせて中学生がダンス、華やかな祭りの幕開けになりました。新たな試みとして実施した「中小路学区うまいもん争奪ジャンケン大会」、気になる賞品「中小路学区うまいもん」は、ただいまコーヒー・みどり園のギフトセット、富田酒店の茨城県産コシヒカリ5キロをかけての真剣勝負、想定以上の盛り上がりで子供からご年配の方まで1回のジャンケンごとに歓声とため息が会場内に巻き起こりました。

50周年を飾る特別ゲストとして、毎年五月に日立市で開催する「ひたち国際大道芸」にも長年参加、1999年には大道芸ワール

中小路「コミュニティ推進会発足50周年記念事業」 「ひたち・中小路学区夏まつり」開催

中小路学区夏祭り実行委員会 委員長 草地 学

毎年参加頂いている助川ばやしと中小路お囃子隊の皆さんによる太鼓の演奏では、50周年のお祝いとして「さくら太鼓」を披露、祭りに華を添えて頂きました。



ドチャンピオンになったサンキュー手塚さんに参加頂きました。サンキュー手塚さんのパフォーマンスは、世界に通用する「ストリート宴会芸」と称され、ヒット曲にのせて繰り広げられる奇想天外なパフォーマンス、質の高い技術と笑いのセンスがふんだんに散りばめられたシヨは、若者は勿論のこと、子供からお年寄りまでをも抱腹絶倒させるほどのエンターテイメントでした。なんと、サンキュー手塚さんのパフォーマンスを観るために東京、市外からもお越し頂いた方も多くいました。

最後の抽選会では50周年にあわせて50本の賞品を用意、賞品は中小路小PTAでアンケート調査を行い、今欲しいアイテムをセレクトしました。

そして祭りの目玉である子供が店長になる模擬店では中小路小学校の先生方や駒王中学校のボランティアスタッフで子供店長をサポート、模擬店数も一〇店舗を超えバラエティー模擬店があるのも魅力のひとつである。

また、祭りを支援いただく協賛金についても企画委員会主導で新たに応援いただく方も大幅に増え、まさに地域が一体になった祭り作りができました。この場を借りまして、準備に片付け、一出演、ご参加いただきました全ての皆様に感謝と御礼を申し上げます。

そして、次は百周年を目指し中小路学区に住む皆さんの夏の風物詩として、楽しき笑顔が広がる祭りを引き続き実施していきたいと思ひます。

夏休みこどもの日

青少年育成部部長 福地 秀彰

夏休みこどもの日・2025を、7月26日(土)に、なかこうじ児童公園で行いました。当日は、なかこうじ児童公園を守る会、まちのこ団(初協力)の皆様のご協力をいただきながら、今年も昼の部(遊び)と夜の部(蝉の羽化観察)を実施しました。

昼の部は、子供たち21人と保護者の方々17人の合計38人の参加者がありました。守る会の皆様には、冷たいかき氷の配布とジャンボシャボン玉づくりをしてもらいました。また、まちのこ団の方々には、暑い夏を少しでも忘れるようにと、ミストを設営して涼を演出...

ハンモック&ボードゲーム等、一人一人が工夫しながら楽しいひと時を過ごせるよう多様な遊びを準備してもらいました。

夜の部は、子供たち16人と保護者の方々15人の合計31人の参加がありました。昨年、雷雨のため短時間しか見られなかった脱皮の瞬間を数多く見る事ができました。大人でも、生物の変化を間近かで見ることが稀になってきています。そういう面からも、有意義な時間を過ごすことができました。

今年の夏は、特に暑い日が続く、外遊びが難しい条件が揃いましたが、自然に触れることと簡単な遊びの中から、子供たちの心の中に、思い出深い記憶が刻み込まれたと思います。保護者の皆さんと子供たちの笑顔と喜びの奥に、それらを感じた一日でした。



まちのこ団・演出の遊び



守る会・かき氷配布



蝉の羽化・オリエンテーション

中小路・仲町・宮田小学校統合委員会

中小路学区代表委員 草地 学

5月22日に第1回の統合委員会が開かれました。主に全体スケジュールや各部会(校名部会・PTA部会など)についての確認を行いました。来年(令和8年)3月に、いつ統合するかを決める予定です。

学校の統合は「子供たちのために最善の教育環境の整備」を第一に考える必要があるため、現在統合校が設置される宮田小学校の修繕工事にに向けた予算の確保、新しい校名や校歌、校章などをしっかり作った上で、新たな学校を開校することが委員として参加する責務と感じ、これからの会議でも丁寧に話して参ります。

また、統合後の学校の名前は夏休み期間中に一般募集を行いました。今回は改めて、私たちの中小路小学校の概要を紹介します。



◆沿革

昭和15年	日立市立中小路尋常小学校として 助川尋常小学校から分離開校
昭和22年	学制改革により日立市立中小路小学校に改称
平成2年	創立50周年式典
令和7年	創立85周年

◆校章/校章の由来

外側の花は「サクラ」の花、サクラの内側は太平洋の波の輝き、漢字の「中」(なかこうじ)「小」(小学校)をデザイン、真ん中の縦棒は日立市の市章